

2020年度 事業報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

クローバーの会@やまがた

1. 事業の成果

事業実施により、さまざまな困難を抱える若者たちが不名誉感や傷つきを感じることなく、気軽に立ち寄ることが出来る敷居の低いフリースペースの活動ができた。加えて、そこからステップアップする形で地域食堂（子ども若者食堂「みどり町こどもひろば」）を開くことができ、参加する若者の活躍の場を創出することも出来た。また親の会で当事者家族の孤立を防ぎ、家族間の雰囲気をやわらげたり、凝り固まった価値観を緩めたりすることで、辛い状況にある方に支援を届けることが出来た。

この3つの活動がお互いに入口や出口となり、それぞれの活動を行ったり来たりできる作りにできたことは、参加者の足場を増やすことになった。

これまで立ち上げた親の会、東根市『ちえり〜ず』、上山市『ウラヌスの会』、山辺町『360』の他に、新たに大江町『オールグリーン』、河北町『クローバーの会@かほく』を立ち上げ支援により加わったことで、親の会のネットワークが強化されただけでなく、県内に相談窓口、支援団体が増えたことは孤立する家族にとって大きな助けとなった。

また、コロナ禍で困窮する子育て世帯、中でもひとり親家庭に重点を置き「フードパントリー」（食料無料配布）を開催することが出来た。それをきっかけに、ひとり親家庭をその先の支援につなぐ新たな活動の展開につながった。

全体の事業を通して、多様な背景をもつ、子ども・若者たち、その親たちの困りごとやニーズをキャッチし自立支援に導くことができた。

- ① 「不登校・ひきこもりの相談窓口の開設」事業
- ② 「不登校・ひきこもり出張相談会&入門講座」事業
- ③ 「若者に居場所を提供するフリースペースの開設・運営」事業
- ④ 「次のステップにつながる地域食堂の創出」事業
- ⑤ 「家族を対象とした茶話会（親の会）の開催」事業
- ⑥ 「地域に根ざした親の会の立ち上げ支援」事業
- ⑦ 「地域住民への理解促進を目的とした講演会などの開催」事業
- ⑧ 「学びたい人、学び直したい人のための学習支援（みどり町夜間教室）」事業
- ⑨ 「学びたい人、学び直したい人のための出張学習支援」事業
- ⑩ 「ひとり親、困窮する子育て世帯への支援」事業

※①～⑧は「令和2年度若者相談支援拠点設置運営事業」の業務委託（山形県若者活躍・男女共同参画課）を受けて実施。⑨ ⑩ は自主事業として実施。

2. 事業の実施に関する事項

事業	実施内容など	実施場所	受益者・成果物
①相談窓口	電話・メール・来所による相談	山形市	延べ171人
②出張相談	入門講座・出張相談合わせて 年間：17回	村山地域	延べ71人
③フリースペース	年間総開日数：165日(うちオンライン24日)	山形市	延べ474人
④地域食堂	年間開催回数：20回	山形市	延べ271人
⑤親の会	年間開催回数：14回（うちオンライン2回）	山形市	延べ121人
⑥親の会立ち上げ支援	立ち上げた親の会：2団体	大江町	オールグリーン
		河北町	クローバーの会@かほく
⑦講演会	鈴木綾氏による講演会の開催 11/21	山形市	参加者25人
⑧学習支援	みどり町夜間教室 年間開催回数：24回	山形市	延べ25人
⑨出張学習支援	出張夜間教室 年間開催回数：24回	山形市	延べ42人
⑩フードパントリー	年間開催回数：24回	山形県全域	延べ750世帯2130人
ひとり親相談会	年間開催回数：24回	〃	延べ56件
ひとり親弁当配布	年間開催回数：3回	〃	延べ63人
ひとり親ランチ会	年間開催回数：6回	〃	延べ62人

その他

- ・活動報告『クローバー通信』:年間12回（300部/回）発行
- ・講演会（自主事業）：奥地圭子氏「不登校の子どもたちの権利について考える」10/31 参加者37名
- ・eスポーツ：年間10回（のべ参加者数91人）
- ・マンガ部：年間6回（のべ参加者数22人）
- ・ギター部：年間3回（のべ参加者数7人）
- ・マンガ&ギター部：年間4回（のべ参加者数12人）
- ・昇竜拳部屋：年間8回（のべ参加者数31人）
- ・卓球大会：年間2回（のべ参加者数22人）などを開催
- ・みどり町こどもひろば芋煮会：10/3開催参加者数34人 ※山形北ロータリークラブ様より招待

※コロナ感染拡大防止のために、オンラインでの開催や人数制限を設けたり、二部制にしたりの開催